

## I

特集 ケミカルピーリングのコツ

ケミカルピーリングの基礎知識：  
ガイドラインから臨床治療への取り入れ方

戸佐真弓

まゆみクリニック 院長

ケミカルピーリングは、皮膚に薬剤を塗布し化学的に剥離させ、創傷治癒機転により皮膚を再生させる治療法である。『日本皮膚科学会ケミカルピーリングガイドライン2008』に基づき治療法が確立された。主に痤瘡、小ジワなどのアンチエイジングに対する治療として施行されている。

国内では、皮膚の基底層レベル（レベル1、2）までの深度が主であり、グリコール酸、サリチル酸マクロゴールの薬剤が汎用されている。痤瘡治療、アンチエイジング治療において、新薬、新しい機器が導入されている現在でも、欧米ではレベル1、2のピーリング治療は増加傾向にある。個々の疾患により、的確なピーリング薬剤を選択し外用剤やレーザー治療などと組み合わせることで治療することにより治療の幅が広がり、相乗効果が得られ満足度を上げることが可能となる。

## はじめに

ケミカルピーリングは、皮膚に薬剤を塗布し、化学的に融解し剥離させていくものである。作用機序としては、創傷治癒機転における皮膚の再生である。主に、痤瘡やアンチエイジングに対する治療として施行されているが、治療目的によりの確かな薬剤を選択し安全に施行することが重要である。当院でも1995年より治療を開始したが、当時、国内では認知度は低かった。今回、『日本皮膚科学会ケミカルピーリングガイドライン』に基づいた治療の進め方、および、欧米における近年のケミカルピーリング治療の現状について記述する。

## 『日本皮膚科学会ケミカルピーリングガイドライン』について

2001年に『日本皮膚科学会ケミカルピーリングガイドライン2001』が公表され、2004年、2008年といくつかの改訂を重ね、現在、皮膚科領域の確立した治療法と位置づけられている。ガイドラインより一部抜粋し以下に挙げる。

## ガイドラインによる基本理念

作用機序は、皮膚の創傷治癒機転による皮膚の再生であり、施行にあたり、

- i. 正確な診断あるいは状態の把握
  - ii. 重症度あるいは程度の判定
  - iii. 治療あるいは処置行為
- の手順でなされるべきである。

## 施行基準

## 剥離深度

以下のごとく剥離深度をレベル1、2、3、4と表記する<sup>1)</sup>。

- レベル1：最浅層ピーリング(角層)
- レベル2：浅層ピーリング(表皮顆粒層から基底層の間)
- レベル3：中間(深)層ピーリング  
(表皮と真皮乳頭層の一部から全部)
- レベル4：深層ピーリング表皮と真皮乳頭層および網状層に及ぶ深さ  
角層までがレベル1、表皮顆粒層から基底層までをレベル2とし、この1、2を合わせ「superficial peeling」と欧米ではいわれている。表皮と真皮乳頭層の一部から全部までをレベル3、「medium depth peeling」とし、網状層に及ぶ深さのレベル4は、「deep peeling」である(図1)。

黄色人種に主に行われている治療は、レベル1、2である。

## 使用薬剤例

国内において、主な使用薬剤であるグリコール酸、サリチル酸、トリクロロ酢酸(TCA)の剥離深度の目安を以下に示す<sup>1)</sup>。

剥離深達レベル1、2

- 20～35%  $\alpha$  ヒドロキシ酸(グリコール酸・乳酸)
- 20～35% サリチル酸(エタノール基剤・マクロゴール基剤)
- 10～20% トリクロロ酢酸(TCA)

剥離深達レベル1、2、3

- 50～70% グリコール酸
- 35～50% TCA

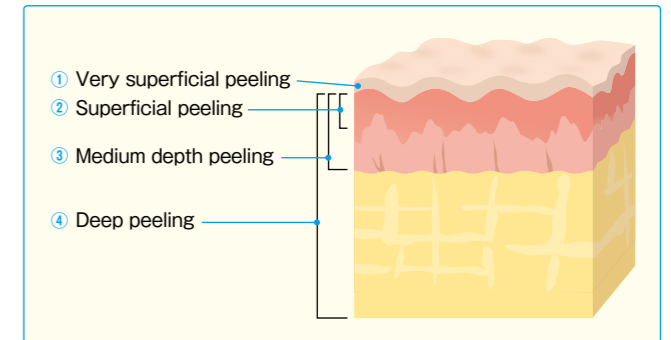


図1 ケミカルピーリング

薬剤を皮膚に塗布し損傷された皮膚の治療を化学的に行う方法である。

剥離深達レベル3、4

- ベーカーゴードン液フェノール(濃度88%以上)  
各薬剤、濃度により深度が異なり、グリコール酸では、50～70%の濃度ではレベル1、2までだけでなくレベル3になる可能性があり、使用時には細心の注意が必要となる。

Evidence-based medicine (EBM)に  
基づいた疾患別推奨度

図2に疾患別の推奨度をまとめた<sup>1)</sup>。ガイドラインに示されるように、疾患別では、グリコール酸、サリチル酸マクロゴール基剤において痤瘡、日光性黒子(小斑型)、小ジワの推奨度が比較的高いものであった。

## 施術中の注意・留意点

とくに、紫外線の影響を受けやすくなるため、遮光が十分にできない人やアダパレンを含むレチノイドの外用、または内服を行っている人は、十分な注意が必要である。また、具体的な当院における治療適応禁忌に関しては、施術の項で述べる。